

平成30年度大学院地球社会統合科学府

修士課程（冬季）入学試験

入学試験問題

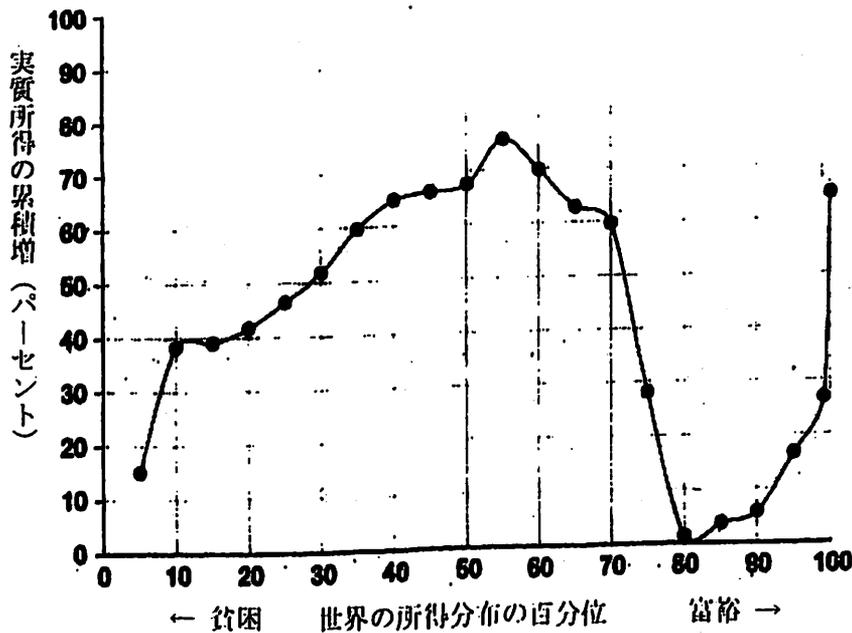
⑤ 政 治

注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

以下の問題（Ⅰ～Ⅲ）の中から、2題のみ選択し、それぞれ700字～800字程度で解答しなさい。1題につき解答用紙1枚を使用し、冒頭に選択した問題番号を明記してから、解答すること。（配点100点×2、計200点）

- I. 政治体制が国の経済運営のあり方を制約するのか。あるいは経済体制が国の政治のあり方を方向づけるのか。一国のなかにおける政治と経済の相互関係について、複数の国の例をとりあげて総合的に論じなさい。
- II. リベラリズムの政治理論に対する、コミュニタリアニズム（communitarianism、共同体主義）の立場からの批判について、代表的論点を明示しつつ説明しなさい。また、この批判の現代的意義についても論じなさい。
- III. 1988年から2008年にかけて一人当たりの実質所得の伸びについて、世界的な所得水準によって特徴的な差異が生じていることが下記のグラフのように明らかになっている。このことが現代政治にもたらしている影響について、次の六つの単語のうち二つ以上を用いて論じなさい。「地域秩序」「ナショナリズム」「経済成長」「中間層」「移民排斥」「セーフティネット」。



グローバルな所得水準で見た一人当たり実質所得の相対的な伸び 1988-2008年

出典：ブランコ・ミラノヴィッチ/立木勝訳『大不平等：エレファントカーブが予測する未来』
みすず書房、2017年（一部改）